



ベネズエラを巡る

21世紀ラテンアメリカの政治・社会状況

申込不要
入場無料

交通案内

阪急京都線利用の場合は、「西院」駅から西へ徒歩約15分。
または市バス「西大路四条」(西院)から3・8・28・29・67・69・71系統に乗車、「京都外大前」で下車。(所要乗車時間約5分)

JR線利用の場合は、「京都」駅烏丸口から市バス28系統、八条口から市バス71系統に乗車、「京都外大前」で下車。(ともに所要乗車時間約30分)

地下鉄烏丸線利用の場合は、「四条」駅で下車、市バス「四条烏丸」から3・8・29系統に乗車、「京都外大前」で下車。(所要乗車時間約15分)

地下鉄東西線利用の場合は、「太秦天神川」駅から南へ徒歩約13分。



お問い合わせ

京都外国語大学ラテンアメリカ研究所

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6
TEL: 075-312-3388 FAX: 075-322-6237
E-mail: ielak@kufs.ac.jp
<http://www.kufs.ac.jp/ielak/index.html>

Instituto de Estudios Latinoamericanos de la Universidad de Estudios Extranjeros de Kyoto



21世紀ゼロ年代の南米大陸のブラジルとベネズエラ
の良好な関係を注目してきたラテンアメリカ研究者に
とって、21世紀10年代の今の状況の変化には驚きを
禁じ得ない。ルーラとチャベスの過去とボルソナロと
マドゥロの今である。

社会的格差の激しいブラジルの事情を考えると、ラテン
アメリカにおける経済発展重視の政策をそのまま受け
入れることはできない。しかし、ベネズエラの「経済活動
はほぼ機能停止」というニュースに接すると、発展のため
の経済政策の必要性も無視できないであろう。ベネ
ズエラを巡る中国やロシアの絡む外交問題も複雑で
あり、中国とロシアがチャベス理念継承のベネズエラ
政府を支持し、欧米およびブラジルなど南米右派政権が
ベネズエラの反政府勢力支持を表明している。米ソ冷
戦時代を彷彿とさせるような構図でもある。

本講座では今の混乱の実情と行方について、京都外
国語大学ラテンアメリカ研究所の研究者に加え、ベネズ
エラに詳しい研究者の方々と交えて、イデオロギーや
研究分野の枠を超えて議論を行う。熱くかつ自由な
気分で参加いただきたい。



Date Venue

11.8 Fri. 15:40 ~ 17:50
9 Sat 13:30 ~ 17:00

京都外国語大学

国際交流会館4階

会議室



8 Fri | Program 15:40~17:50

15:40~15:50 開会の挨拶

15:50~16:30

「人の移動」から読み解くベネズエラ現代史

野口 茂 [天理大学准教授]

政情不安が続くベネズエラから今、大量の移民・難民が国外脱出している。しかし同国は産油国として、また「移民受け入れ国」として 繁栄を謳歌した歴史をもつ。こうした「人の移動」という観点からベネズエラ経済の盛衰を紐解き、諸問題の歴史・構造的要因をさぐる。

16:30~17:10

憲法改正の比較研究からみるチャベス政権の問題点

岡田 勇 [名古屋大学准教授]

本発表では、ベネズエラ・チャベス政権が行った憲法改正が問題であったとするハビエル・コラレスミアムハースト・カレッジ教授の説を紹介しながら、今日のベネズエラの危機をボリビアやエクアドルとの比較から論じる。

17:10~17:50

ベネズエラ危機の主因をめぐる国際的評価の変化
— 米国経済封鎖主因論の登場 —

山崎 圭一 [横浜国立大学教授]

ベネズエラ危機の原因は、チャベス—マデューロ政権の経済失政説が主流であるが、米国の学者から異論(米国経済封鎖主因説)が出始めており、こうした異論を紹介、検討する。

9 Sat | Program 13:30~17:00

13:30~14:10

比較のなかのベネズエラ

—ほかのラテンアメリカ諸国との共通性と相違点—

村上 勇介 [京都大学教授]

ベネズエラについて多くの分析がなされているが、比較の観点から捉えられる機会は必ずしも多くない。本報告では、チャベス政権の成立までと成立後の展開について、ほかのラテンアメリカ諸国と比較し、共通性と相違点を考える。

14:10~14:50

ベネズエラ、何が争点か?

新藤 通弘 [アジア・アフリカ研究所ラテンアメリカ現代史研究家]

「二人の大統領」の正当性、経済危機の原因と現状、人権と政治弾圧、人道危機と自決権、国民の支持は?米国の干渉と制裁、新たな「東西対決」論、国際報道の信憑性、問題の解決をめざして、などを説明します。

14:50~15:00 休憩

15:00~15:40

国内移住と国境線 —ブラジルの視点—

伊藤 秋仁 [京都外国語大学教授]

ブラジルの国内移住には二つの大きな流れがある。一つは農村部から都市部への流入であり、もう一つは農村部から農業の最前線への移住である。本発表では、しばしば国境線を越える農業の最前線への移住の経緯を明らかにする。

15:40~16:20

議論

牛島 万 [京都外国語大学准教授] メキシコからの視座

住田 育法 [京都外国語大学教授] ブラジル・南米からの視座

16:20~16:50 ディスカッション

16:50 閉会の挨拶

ベネズエラを巡る

21世紀ラテンアメリカの政治・社会状況